

東京校75回 卒後30周年記念同窓会開催

平成28年10月22日（土）、東京赤坂のホテルニューオータニにおいて東京校75回卒後30周年記念同窓会が開催されました。当日は日本歯科大学の創立110周年の記念式典が執り行われたため多くの校友の先生方が上京し、予想を上回る同級生に参加していただきました。北は北海道から、南は沖縄まで全国各地から89名の旧友が集まりました。

東京校75回の同窓会は卒後20周年を同ホテルで開催して以来10年ぶりとなりました。この会は東京近郊の先生方に実行委員をお願いし約1年半前から計画し、75回卒ということで最低でも75名の同級生に集まっていただけのように準備してまいりました。卒後30年も経過すると、同級生の住所などの連絡先も変わり、連絡を取るだけでも様々な苦勞がありました。実行委員の先生方、お忙しい中、本当にありがとうございました。

当日は午後5時30分より受付を開始し、6時より卒後30周年の総会・懇親会を始めました。最初に参加者全員で記念撮影を行った後、司会の新井なぎささん、井下万也君の進行で和やかな雰囲気で行われました。議長に任命された筆者が75回同窓会会則の変更、同窓会運営費、今後の同窓会開催などについて説明し皆様の承認をいただき、総会は無事終了となりました。



懇親会は奥沢康彦君の開会の挨拶後、志賀博君の乾杯の発声で開宴されました。参加者はくじ引きでAからJまでの10卓に分かれて着席し、披露宴のようにおいしいフランス料理をいただきました。食事中には参加者全員が主役のコンセプトで、テーブル別に1分間自己紹介スピーチが二人の名司会のもと笑いの渦の中で行われ、あっという間に時間は過ぎてしまいました。

原節宏君の閉会のあいさつの後、古田昭彦君が今後の同窓会（地方開催）の説明をし、雲野孝君の「終わりだよ～閉会で～す」の一言で中締めとなりました。

その後、小城研二君から二次会の案内があり、同ホテル内の「ガンシップ」を貸し切り71名が集まり二次会となりました。それぞれが学生時代の楽しかった思い出を肴にお酒も進み、いい気分になった後、次回の同窓会での再会を誓って赤坂の町へと三々五々消えていきました。

今回都合により参加できなかった同級生の皆さんも、次回の同窓会にはご参加いただけるよう心よりお願い申し上げます。参加して一緒に昔話に花を咲かせましょう。なお、平成29年秋には原君に講演をお願いして集まる会を企画しております。

（北村和夫 記）